

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・ PPE の点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。

マエストロ



1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する

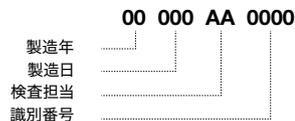
(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

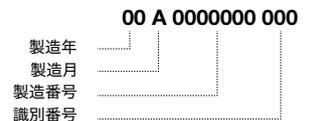
個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:



コード B:



耐用年数を超えていないことを確認してください。

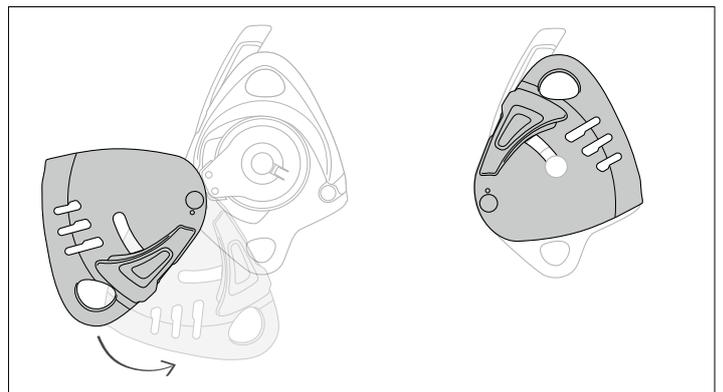
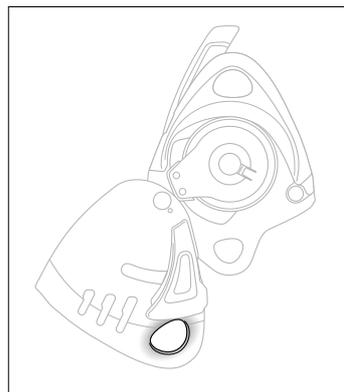
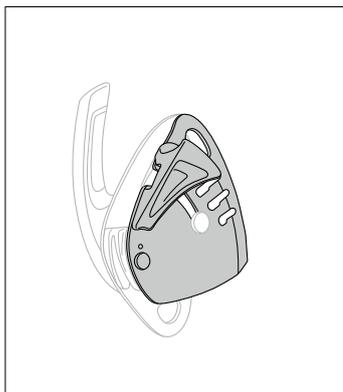
新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

3. 可動サイドプレートの点検

・ 可動サイドプレートおよび補助ブレーキの状態 (傷、変形、汚れ、ひび、摩耗など) を確認してください。

・ アタッチメントホルルの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

・ 可動サイドプレートが適切に開閉することを確認してください。可動サイドプレートに変形やゆるみがないことを確認してください。カム軸の頭がサイドプレートの内側に入ってしまう場合は、その製品の使用を中止してください。

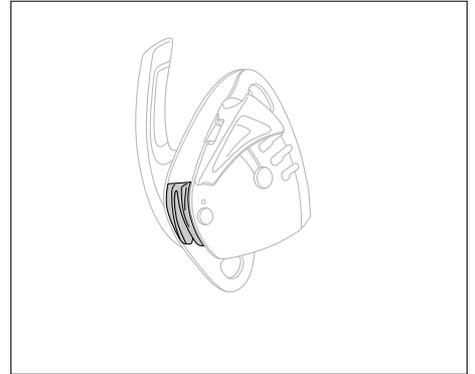
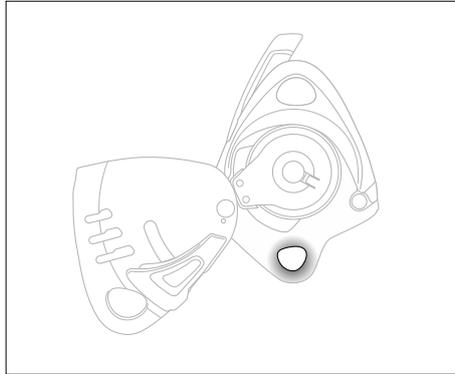
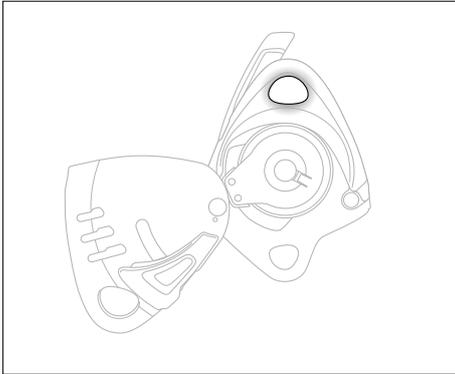


4. 固定サイドプレートの点検

・ アタッチメントホールの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

・ 補助アタッチメントホールの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

・ 固定ブレーキプレートの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。



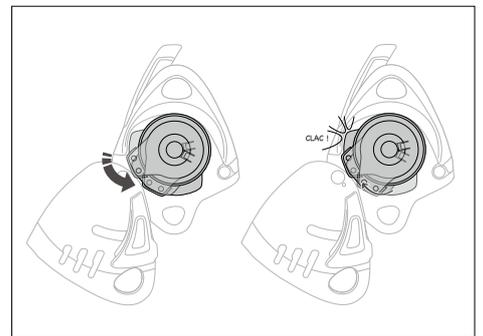
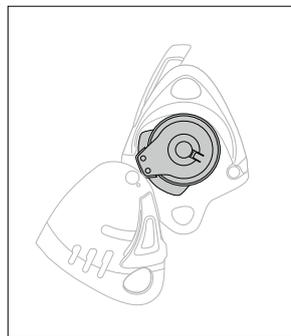
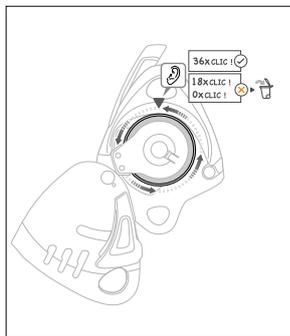
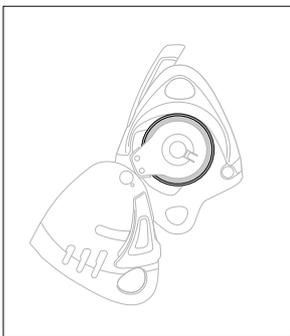
5. ラチェット式ホイールの点検

・ ラチェット式ホイールの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

・ ラチェット式ホイールのクリック音を数えてください: 1 回転する間に「カチッ」という音が 36 回聞こえる必要があります。

・ 可動ブレーキプレートの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

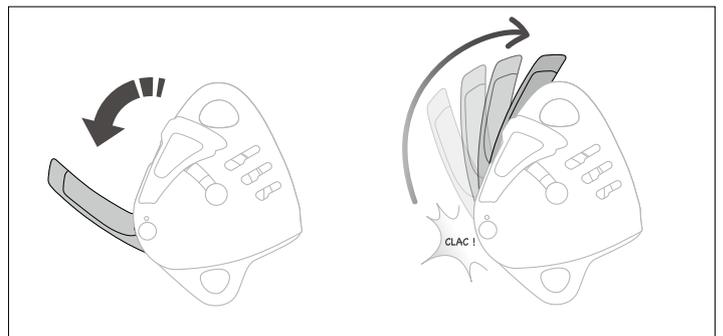
・ 可動式ブレーキプレートの動きとスプリングの効き具合を確認してください。



6. ハンドルの点検

・ ハンドルの状態 (傷、変形、ひびなど) を確認してください。

・ ハンドルのスプリングの戻りを確認して下さい。



7.機能確認

器具を低い高さの支点到に設定し、ロープに荷重を吊り下げます。適応する複数の径のロープ、または通常使用するロープを使用して機能確認を行ってください。ホーリングの際のロープの流れが適切か、ロック機能が適切か、ハンドルを操作して荷重を降ろすことができるかを確認してください。

